

東京大学大学院工学系研究科における寄付講座の開設について

—環境調和型エネルギー資源開発手法の構築を目指して—

各位

当社(社長:平井 茂雄)は、東京大学大学院工学系研究科エネルギー・資源フロンティアセンター(以下、東京大学)とともに、「環境調和型エネルギー資源開発工学(JX日鉱日石開発)寄付講座」を、2013年度から5年間にわたり同校に設置いたしますので、お知らせします。

現在、世界的なエネルギー需給の逼迫を受け、在来型に加えて非在来型エネルギー資源(シェールガス・オイル、超重質・重質油等)の開発が急速に進められています。しかしながら、このような非在来型資源の回収は難易度が高く、環境負荷の増大も懸念されています。

このような背景の下、当社は、かねてより不確実性の工学の意思決定、環境調和型の資源回収の最適化等、エネルギー資源開発に関する研究・教育を実施してきた東京大学とともに、本寄付講座を開設することといたしました。

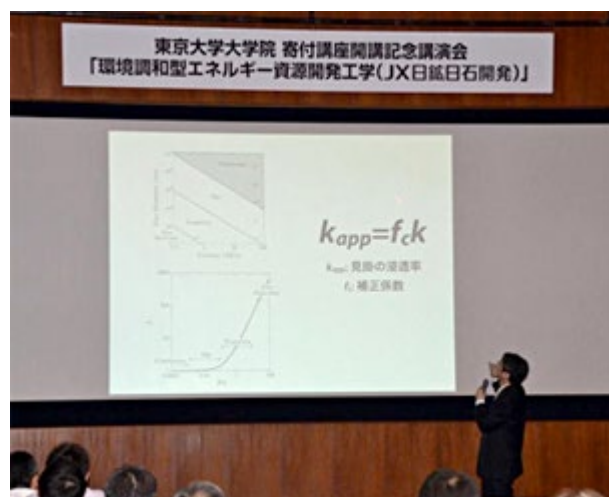
本寄付講座では、エネルギー資源開発プロジェクトに係る情報収集から開発・生産に至る各ステージにおける操業の最適化を研究目的とし、環境負荷を抑えながら資源回収率向上を達成する開発手法論の構築を目指します。

当社は、本寄付講座における教育研究活動を通じて、日本のエネルギー安定供給確保に貢献する人材の育成を支援してまいります。

記

【寄付講座の概要】

1. 講座名称 : 環境調和型エネルギー資源開発工学(JX日鉱日石開発)寄付講座
 英文名:Environment-harmonized Energy Development Laboratory (JX NOEX)
2. 設置場所 : 東京大学大学院工学系研究科エネルギー・資源フロンティアセンター
3. 設置期間 : 2013年度~2017年度(5年間)
4. 寄付者 : JX日鉱日石開発株式会社
5. 担当教員 : ・東京大学教授 佐藤 光三 氏
 ・エネルギー・資源フロンティアセンター特任准教授(選考中)
6. 研究内容 : (1)資源開発プロジェクトへの参入および開発過程での意思決定に際しての情報の価値の定量評価
 (2)難回収性貯留層開発における環境攪乱の最小化と資源回収の最大化を両立する技術の開発・最適化



佐藤教授による本講座開設記念講演会の様子
(5月20日にJXビル内講堂にて開催)



(左から)当社石本技術部長、平井社長、
東京大学佐藤教授、当社高橋副社長、上田技術部部長